

INFECTIOUS DISEASES WEEKLY REPORT

TOKYO IDWR

東京都感染症情報センター

東京都感染症週報

2023年第15週
(4月10日～4月16日)

- * 2023年4月19日現在の情報により作成しています。
最新のデータは「Web版感染症発生動向」をご覧ください。
<https://survey.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
- * 今週は月報告(2023年3月)の疾患及び感染症豆知識「虫酸が走る寄生虫」も掲載しています。

令和5年(2023年)4月20日発行

編集・発行

東京都健康安全研究センター
健康危機管理情報課

電話：03-3363-3213(直通)
FAX：03-5332-7365
e-mail：tmiph@section.metro.tokyo.jp

全数把握対象疾患 報告数（一類～四類） 2023年15週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
一類	エボラ出血熱							
	クリミア・コンゴ出血熱							
	痘そう							
	南米出血熱							
	ペスト							
	マールブルグ病							
	ラッサ熱							
二類	急性灰白髄炎							
	結核	34	37	34	41	521	203	3,565
	ジフテリア							
	重症急性呼吸器症候群 ^{*1}							
	中東呼吸器症候群 ^{*2}							
	鳥インフルエンザ(H5N1)							
	鳥インフルエンザ(H7N9)							
三類	コレラ					1		1
	細菌性赤痢					2		7
	腸管出血性大腸菌感染症	1	2	3	7	38	19	281
	腸チフス					2		14
	パラチフス					1		5
四類	E型肝炎	5	7	3	2	68	15	172
	ウエストナイル熱							
	A型肝炎					3	2	20
	エキノコックス症							3
	黄熱							
	オウム病							2
	オムスク出血熱							
	回帰熱							1
	キャサヌル森林病							
	Q熱							
	狂犬病							
	コクシジオイデス症							
	サル痘	13	14	8	2	82	4	102
	ジカウイルス感染症							
	重症熱性血小板減少症候群 ^{*3}						5	22
	腎症候性出血熱							
	西部ウマ脳炎							
	ダニ媒介脳炎							
	炭疽							
	チクングニア熱							1
つつが虫病					4	2	56	
デング熱		2		1	6	2	18	
東部ウマ脳炎								
鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9を除く)								

*1 病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。

*2 病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。

*3 病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
四 類	ニパウイルス感染症							
	日本紅斑熱						7	16
	日本脳炎							
	ハンタウイルス肺症候群							
	Bウイルス病							
	鼻疽							
	ブルセラ症							
	ベネズエラウマ脳炎							
	ヘンドラウイルス感染症							
	発しんチフス							
	ボツリヌス症							
	マラリア					3	1	6
	野兔病							
	ライム病						1	1
	リッサウイルス感染症							
	リフトバレー熱							
	類鼻疽							
	レジオネラ症	2	4	3	8	44	20	366
レプトスピラ症							2	
ロッキー山紅斑熱								

2023/4/19集計

(全数把握対象疾患のコメント: 一類～五類)

〈二類感染症〉

結核 41件 患者 25件(肺結核 17件、その他の結核 8件)、無症状病原体保有者 16件、年齢は5歳未満 1件、20代 9件、30代 3件、40代 4件、50代 4件、60代 3件、70代 8件、80代 4件、90歳以上 5件、推定感染地は国内 27件、ベトナム 1件、ミャンマー 1件、中国 1件、国外(渡航先不明) 1件、不明 10件であった。

〈三類感染症〉

腸管出血性大腸菌感染症 7件 血清型・毒素型はO157 VT1・VT2 3件、O157 VT2 1件、O168 VT1 1件、血清型不明 VT1 1件、血清型不明 VT(型不明) 1件、推定感染地は国内 5件、米国 1件、不明 1件、推定感染経路は経口感染 7件であった。

〈四類感染症〉

E型肝炎 2件 患者 2件、年齢は50代 1件、60代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は経口感染 2件であった。

サル痘 2件 年齢は40代 1件、70代 1件、推定感染地は国内 2件であった。

デング熱 1件 病型はデング熱、血清型は不明、年齢は10代、推定感染地はマレーシアであった。

レジオネラ症 8件 病型は肺炎型 8件、年齢は40代 1件、50代 1件、60代 3件、70代 1件、80代 2件、推定感染地は国内 3件、タイ 1件、中国 1件、不明 3件、推定感染経路は水系感染 1件、不明 7件であった。

〈五類感染症〉

アメーバ赤痢 1件 病型は腸管、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は性別不明性的接触であった。

ウイルス性肝炎 2件 B型 1件、EBウイルス 1件、年齢は20代 1件、30代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件、B型肝炎ワクチン接種歴は接種なし 1件、不明 1件であった。

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 3件 病原菌は*Klebsiella aerogenes* 3件、年齢は60代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は院内感染 2件、手術部位感染 1件、90日以内の海外渡航歴は渡航なし 3件であった。

急性弛緩性麻痺 2件 エンテロウイルス 2件、年齢は5歳未満 2件、推定感染地は国内 1件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 1件、ポリオ含有ワクチン接種歴は4回接種済み 2件であった。

全数把握対象疾患 報告数（五類） 2023年15週

分類	対象疾患	東京都(保健所受理週)					全国(診断週)	
		12週	13週	14週	15週	年累計	15週	年累計
五 類 (全 数 届 出)	アメーバ赤痢		2	2	1	22	6	145
	ウイルス性肝炎(A型・E型を除く)	2		1	2	17	4	71
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3	1	3	3	61	29	502
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く) *1				2	3	1	15
	急性脳炎 *2	1			1	9	5	130
	クリプトスポリジウム症							2
	クロイツフェルト・ヤコブ病			2	1	4	1	39
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1	3	1	2	34	13	246
	後天性免疫不全症候群	7	4	6	3	83	14	256
	ジアルジア症		1		3	5	3	17
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	2		1	8	5	88
	侵襲性髄膜炎菌感染症							4
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	5	4	3	50	20	492
	水痘(入院例に限る)	2	2	1	2	17	2	87
	先天性風しん症候群							
	梅毒	64	95	71	81	1,105	206	4,086
	播種性クリプトコックス症				1	7	5	53
	破傷風							14
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症							
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2				6	1	44
百日咳	1	1	2		17	8	169	
風しん		1	1		2	1	4	
麻しん					1		3	
薬剤耐性アシネトバクター感染症							5	

2023/4/19集計

*1 2018年5月1日より追加指定された。

*2 ウェストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く。

急性脳炎 1件 病原体はインフルエンザウイルスA、年齢は40代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明であった。

クロイツフェルト・ヤコブ病 1件 遺伝性-家族性CJD、年齢は70代であった。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症 2件 血清群はB群 2件、年齢は70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路はその他 1件、不明 1件であった。

後天性免疫不全症候群 3件 AIDS 1件、無症候キャリア 1件、その他 1件、性別は男性 3件、AIDS患者の年齢は50代 1件、無症候キャリア・その他の年齢は20代 1件、40代 1件、推定感染地は国内 3件、推定感染経路は性的接触 3件(同性間 2件、性別不明 1件)であった。

ジアルジア症 3件 年齢は20代 3件、推定感染地はインド 1件、ガーナ又はケニア又はインド 1件、ベトナム 1件、推定感染経路は経口感染 2件、水系感染 1件であった。

侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 血清型は未実施、年齢は80代、推定感染地は国内、推定感染経路は不明、ヒブワクチン接種歴は不明であった。

侵襲性肺炎球菌感染症 3件 血清型は未実施 3件、年齢は50代 1件、70代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、不明 1件、推定感染経路は飛沫・飛沫核感染 1件、不明 2件、肺炎球菌ワクチン接種歴は23価1回接種済み 1件、価数不明2回・13価1回・23価1回接種済み 1件、不明 1件であった。

水痘(入院例) 2件 検査診断例 1件、臨床診断例 1件、年齢は40代 1件、80代 1件、推定感染地は国内 2件、推定感染経路は不明 2件、水痘ワクチン接種歴は不明 2件であった。

梅毒 81件 患者 60件(早期顕症梅毒Ⅰ期 32件、早期顕症梅毒Ⅱ期 28件)、無症候梅毒 21件、性別は男性 42件、女性 39件、年齢は20代 39件、30代 11件、40代 15件、50代 12件、60代 3件、70代 1件、推定感染地は国内 66件、米国 1件、不明 14件、推定感染経路は性的接触 75件(同性間 10件、異性間 61件、性別不明 4件)、不明 6件であった。

播種性クリプトコックス症 1件 年齢は70代、推定感染地は国内、推定感染原因は不明であった。

※ 第14週該当分として〔四類〕E型肝炎 1件、〔五類〕梅毒 4件の追加報告があった。

定点把握対象疾患 報告数 2023年15週

上段: 報告数
下段: 定点当たり

定点種別	対象疾患	2023年				報告 医療 機関数	定点 医療 機関数
		12週	13週	14週	15週		
小児科	RSウイルス感染症	37 0.14	44 0.17	64 0.25	83 0.32	258	264
	咽頭結膜熱	29 0.11	44 0.17	30 0.12	54 0.21		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	93 0.36	88 0.34	99 0.38	139 0.54		
	感染性胃腸炎	1,049 4.05	898 3.47	954 3.67	1,123 4.35		
	水痘	20 0.08	29 0.11	31 0.12	27 0.10		
	手足口病	6 0.02	7 0.03	11 0.04	35 0.14		
	伝染性紅斑	3 0.01	2 0.01	4 0.02	19 0.07		
	突発性発しん	59 0.23	66 0.25	69 0.27	73 0.28		
	ヘルパンギーナ	2 0.01	5 0.02	10 0.04	14 0.05		
	流行性耳下腺炎	7 0.03	10 0.04	12 0.05	8 0.03		
	川崎病 ^{*1}	1 0.00	3 0.01	1 0.00	1 0.00		
	不明発しん症 ^{*1}	8 0.03	9 0.03	8 0.03	10 0.04		
	インフル エンザ	インフルエンザ ^{*2}	2,144 5.19	1,487 3.58	953 2.32		
眼科	急性出血性結膜炎	2 0.05				38	39
	流行性角結膜炎	6 0.16	7 0.18	4 0.11	5 0.13		
基幹	細菌性髄膜炎 ^{*3}			1 0.04		25	25
	無菌性髄膜炎	1 0.04		1 0.04	3 0.12		
	マイコプラズマ肺炎	1 0.04			1 0.04		
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)						
	感染性胃腸炎(ロタウイルス) ^{*4}						
	インフルエンザ入院	13 0.52	5 0.20	5 0.20	10 0.40		
						2023/4/19集計	

*1 不明発しん症、川崎病 は東京都が独自に指定する疾患である。

*2 鳥インフルエンザを除く。

*3 インフルエンザ菌、髄膜炎菌、肺炎球菌を原因として同定された場合を除く。

*4 病原体がロタウイルスであるものに限る。

(今週の注目される定点把握対象疾患)

- ・ インフルエンザは定点当たり報告数が1.92と減少しています。

定点把握対象疾患 報告数【年齢階級別】 2023年15週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
～5か月	3			13	1			2			
6～11か月	11	5	2	70	1	6	2	16	3		
1歳	23	13	7	150	5	12	4	34	6		
2歳	23	7	10	110		8	3	12	3	1	
3歳	11	12	15	116	1	5	4	4			
4歳	7	9	22	121	3	1	2	3		2	1
5歳	4	2	28	114	1	3	1	2	1	1	
6歳		1	9	64	2		1			2	
7歳		2	12	64	4		2		1		
8歳		1	10	57	3					1	
9歳			5	34	1						
10～14歳		1	9	91	5						
15～19歳			3	20						1	
20～29歳	1	1	7	99							
30～39歳											
40～49歳											
50～59歳											
60～69歳											
70～79歳											
80歳以上											
合計	83	54	139	1,123	27	35	19	73	14	8	1
先週比	19	24	40	169	-4	24	15	4	4	-4	

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

	小児科	インフルエンザ	眼科			基幹				
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出 血性結 膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジ ア肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
～5か月	1	5				1				
6～11か月	3	8								1
1歳	2	29								
2歳		41		1						
3歳	2	68								1
4歳		63								2
5歳	1	81								1
6歳	1	61								
7歳		60								
8歳		32								1
9歳		20								
10～14歳		107								2
15～19歳		62								
20～29歳		30		1		1	1			
30～39歳		49		1						
40～49歳		55								1
50～59歳		9		2						
60～69歳		7								
70～79歳		1				1				
80歳以上										1
合計	10	788		5		3	1			10
先週比	2	-165		1	-1	2	1			5

注:小児科定点把握対象疾患の「20～29歳」は「20歳以上」と読み替える。
眼科定点把握対象疾患のうち、「70～79歳」は「70歳以上」と読み替える。

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数 【保健所別】 2023年15週

	小児科										
	RS ウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				1.67				1.00			
中央区		0.33	0.33	7.33		0.67		0.67	0.67		
みなと	1.00		0.50	3.00		0.17		0.50	0.67	0.17	
新宿区	0.14	0.29	0.43	1.57		0.14		0.14			
文京		0.25		2.00					0.25		
台東	0.50	0.50	1.00	14.25	0.25	0.25					
墨田区				1.80				0.20			
江東区	0.78	0.11	0.67	6.44	0.22	0.11	1.33	0.22	0.33		
品川区			0.25	3.63	0.13			0.13			
目黒区	0.20		0.40	4.60	0.20					0.20	
大田区	0.23	1.00	1.00	5.92	0.08			0.38	0.08		
世田谷	0.38		0.94	5.56		0.13		0.31			
渋谷区	0.50			4.00			0.25				
中野区			1.17	4.67		1.67		0.50			
杉並	0.36	0.36	0.36	2.73			0.18	0.73			
池袋	0.20			1.40							
北区	0.14	0.57	1.00	6.86	0.14			0.29		0.14	
荒川区	1.75	0.50	0.50	6.25		0.50	0.25	0.75			
板橋区			1.00	2.70	0.10			0.10			
練馬区	0.08	0.15	0.46	4.69	0.08	0.15		0.38		0.08	
足立	0.42	0.17		3.83		0.25	0.17	0.50			0.08
葛飾区	0.13		0.13	2.88		0.38		0.13			
江戸川	1.75	0.25	1.83	3.58		0.08		0.08			
八王子市	0.73	0.36	0.55	8.91			0.09	0.18			
町田市			0.38	6.00	0.63	0.13		0.13		0.25	
西多摩	0.13	0.25	0.13	1.75	0.13			0.13			
南多摩	0.11	0.11	0.22	2.22				0.22		0.11	
多摩立川			0.29	2.14	0.07			0.36	0.14		
多摩府中	0.11	0.17	0.28	3.56				0.28	0.06		
多摩小平	0.14	0.50	0.71	6.36	0.79	0.36		0.29		0.07	
島しょ											
東京都	0.32	0.21	0.54	4.35	0.10	0.14	0.07	0.28	0.05	0.03	0.00

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		0.25				0.50	0.50			
中央区		0.80								
みなと		0.67								
新宿区		1.18				0.50				
文京		0.29		1.00						1.00
台東		0.71								
墨田区		0.63								1.00
江東区		1.21								
品川区		1.50								
目黒区		1.50								
大田区		2.48								
世田谷		1.71								1.50
渋谷区		1.57								
中野区		1.20		1.00						
杉並	0.09	1.29								
池袋	0.20	3.13								
北区		1.91								
荒川区		3.00								
板橋区	0.10	0.69		0.50						
練馬区	0.08	3.90		1.00						
足立		2.22								
葛飾区		2.69								1.00
江戸川	0.08	1.05								
八王子市	0.18	3.28								1.00
町田市	0.13	1.08								
西多摩		0.71								
南多摩		1.93								
多摩立川	0.07	2.76								
多摩府中	0.06	1.43				0.33				0.67
多摩小平		2.45								0.50
島しょ		23.50								
東京都	0.04	1.92		0.13		0.12	0.04			0.40

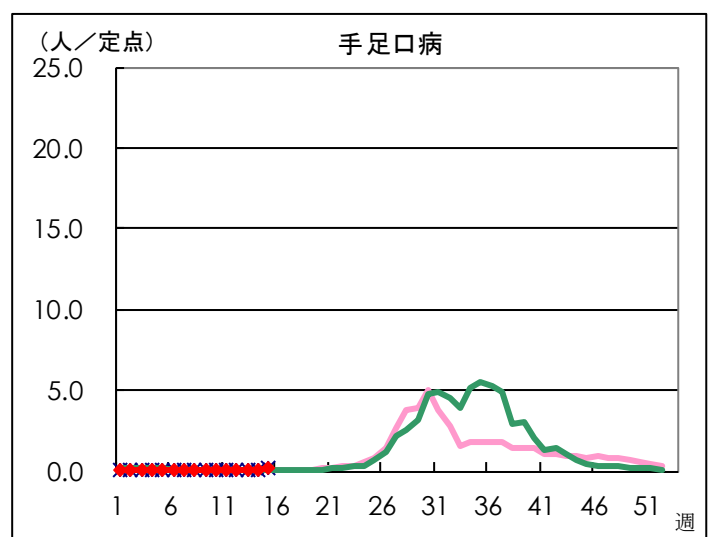
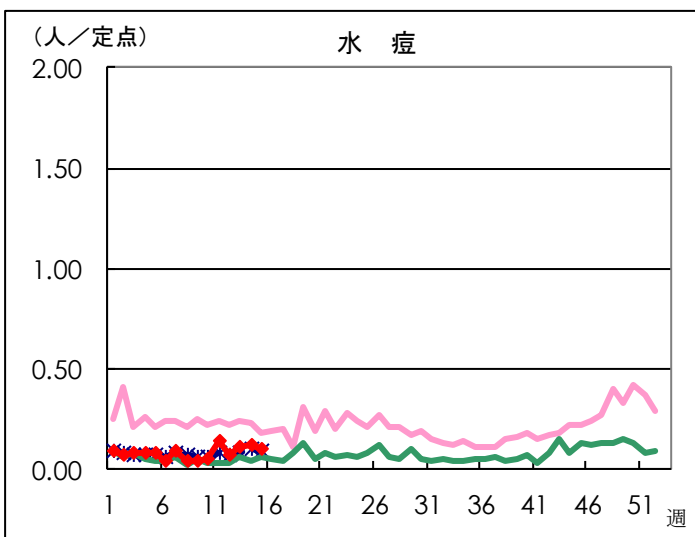
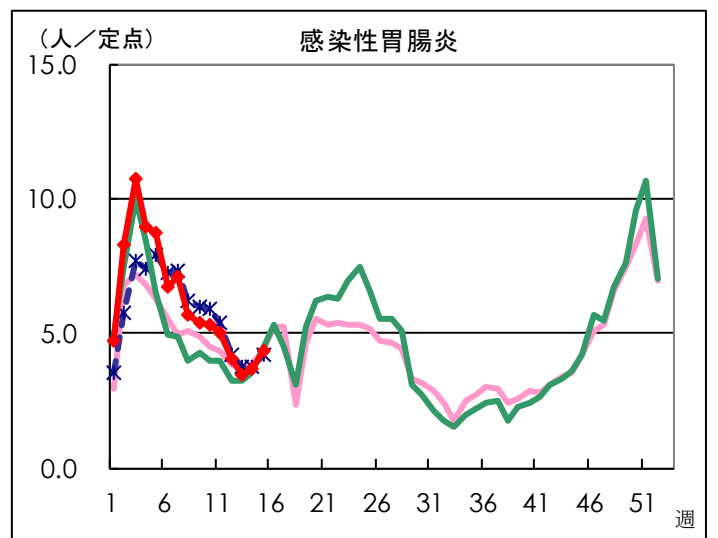
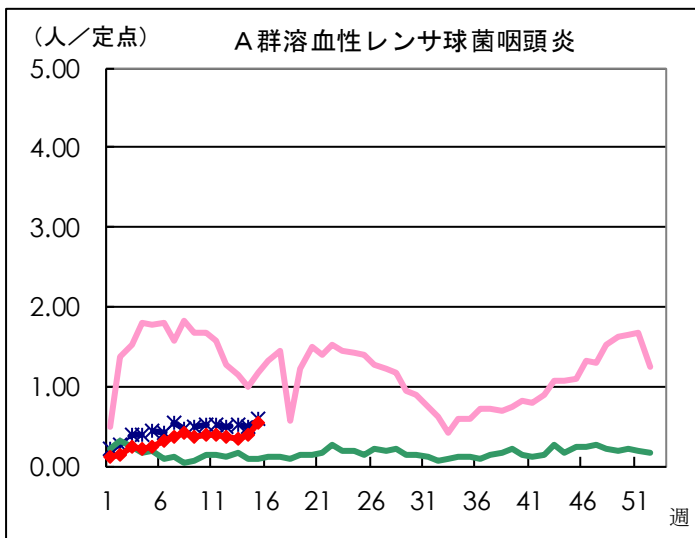
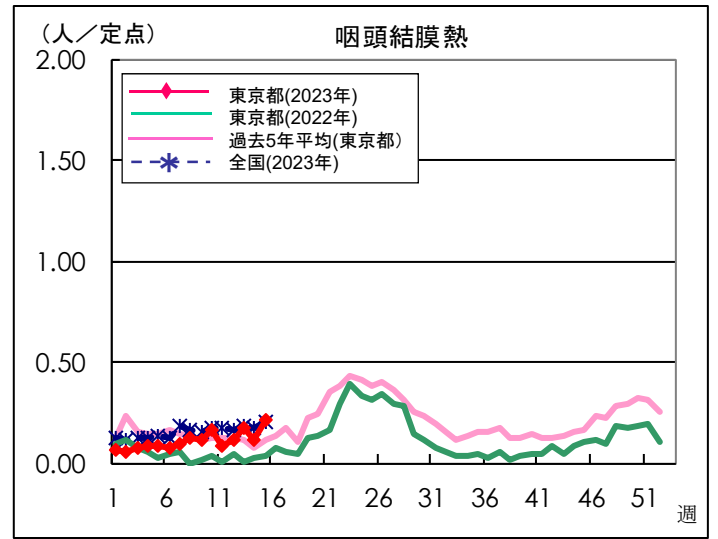
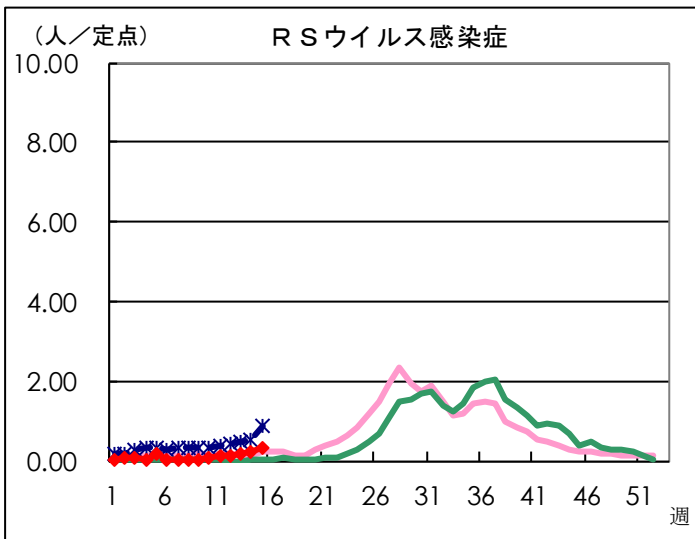
定点把握対象疾患 報告数【保健所別】 2023年15週

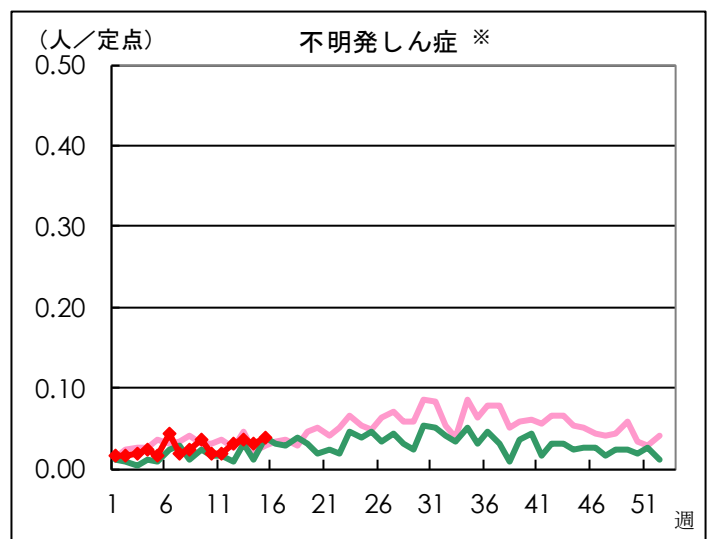
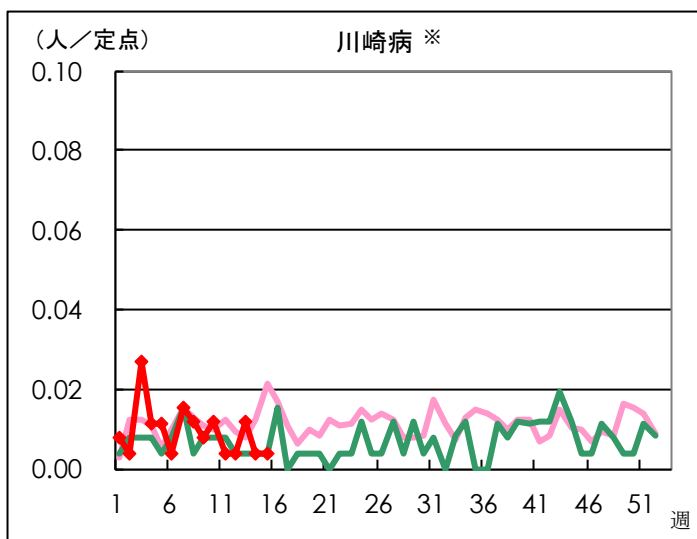
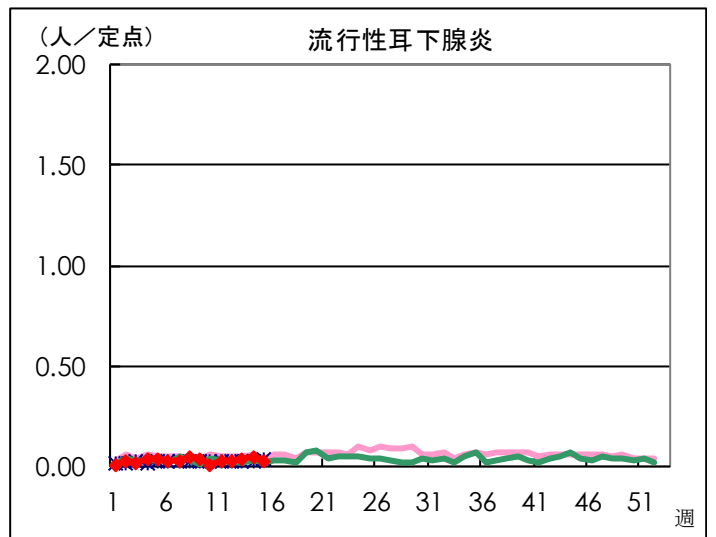
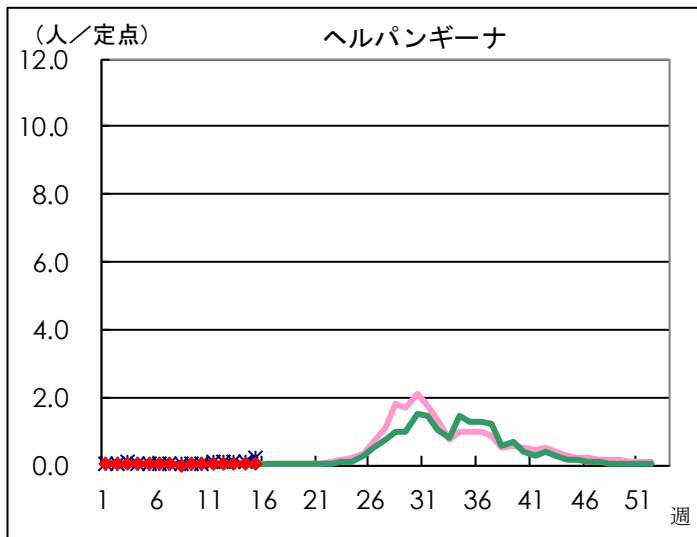
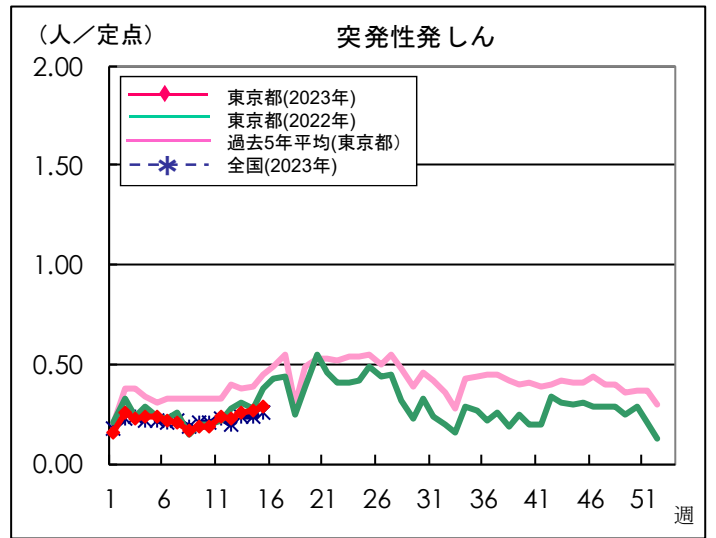
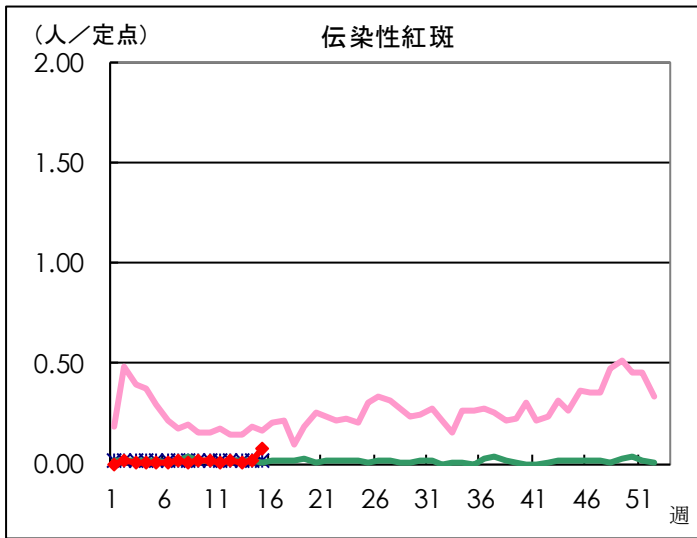
	小児科										
	RSウイルス 感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	川崎病
千代田				5				3			
中央区		1	1	22		2		2	2		
みなと	6		3	18		1		3	4	1	
新宿区	1	2	3	11		1		1			
文京		1		8					1		
台東	2	2	4	57	1	1					
墨田区				9				1			
江東区	7	1	6	58	2	1	12	2	3		
品川区			2	29	1			1			
目黒区	1		2	23	1					1	
大田区	3	13	13	77	1			5	1		
世田谷	6		15	89		2		5			
渋谷区	2			16			1				
中野区			7	28		10		3			
杉並	4	4	4	30			2	8			
池袋	1			7							
北区	1	4	7	48	1			2		1	
荒川区	7	2	2	25		2	1	3			
板橋区			10	27	1			1			
練馬区	1	2	6	61	1	2		5		1	
足立	5	2		46		3	2	6			1
葛飾区	1		1	23		3		1			
江戸川	21	3	22	43		1		1			
八王子市	8	4	6	98			1	2			
町田市			3	48	5	1		1		2	
西多摩	1	2	1	14	1			1			
南多摩	1	1	2	20				2		1	
多摩立川			4	30	1			5	2		
多摩府中	2	3	5	64				5	1		
多摩小平	2	7	10	89	11	5		4		1	
島しょ											
東京都合計	83	54	139	1,123	27	35	19	73	14	8	1

	小児科	インフルエンザ	眼科		基幹					
	不明 発しん症	インフル エンザ	急性出血 性結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 髄膜炎	無菌性 髄膜炎	マイコ プラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)	インフル エンザ 入院
千代田		1				1	1			
中央区		4								
みなと		6								
新宿区		13				1				
文京		2		1						1
台東		5								
墨田区		5								1
江東区		17								
品川区		18								
目黒区		12								
大田区		52								
世田谷		41								3
渋谷区		11								
中野区		12		1						
杉並	1	22								
池袋	1	25								
北区		21								
荒川区		21								
板橋区	1	11		1						
練馬区	1	82		2						
足立		40								
葛飾区		35								1
江戸川	1	20								
八王子市	2	59								1
町田市	1	14								
西多摩		10								
南多摩		27								
多摩立川	1	58								
多摩府中	1	43				1				2
多摩小平		54								1
島しょ		47								
東京都合計	10	788		5		3	1			10

定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2023年15週 現在)

◆ 小児科定点

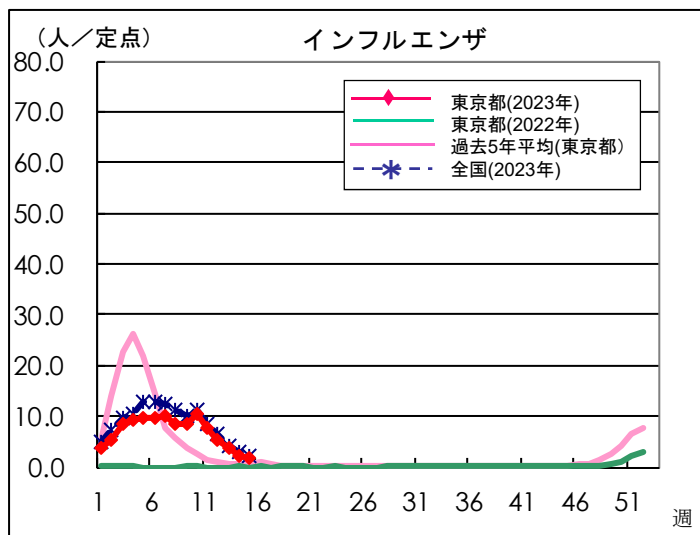




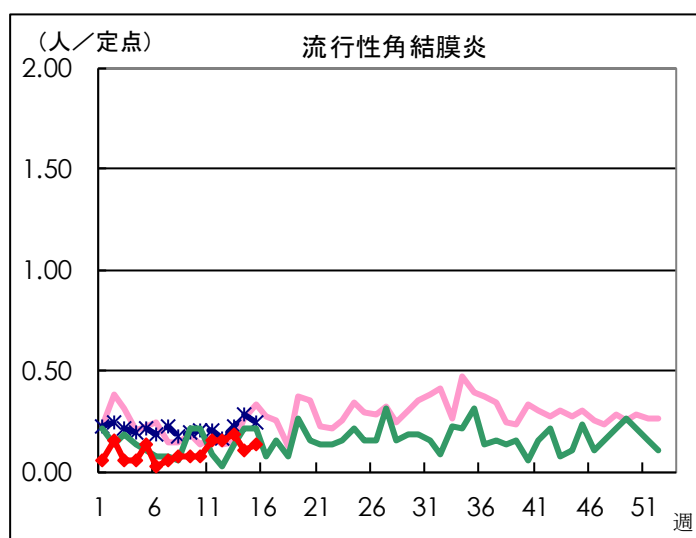
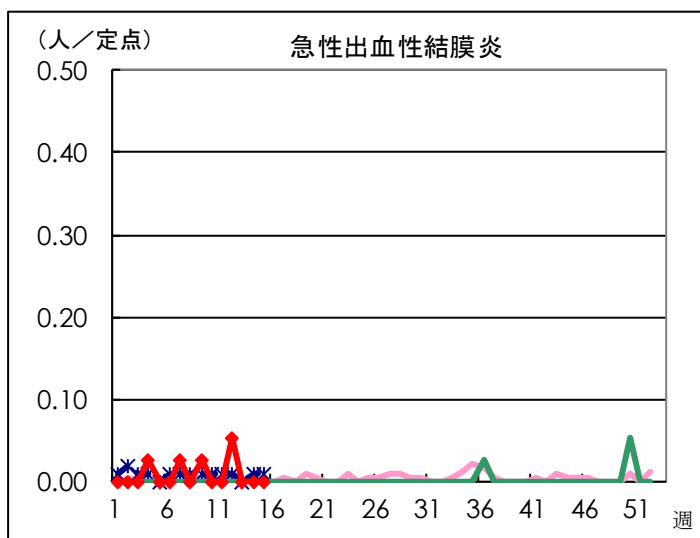
※ 東京都独自対象疾患

※ 東京都独自対象疾患

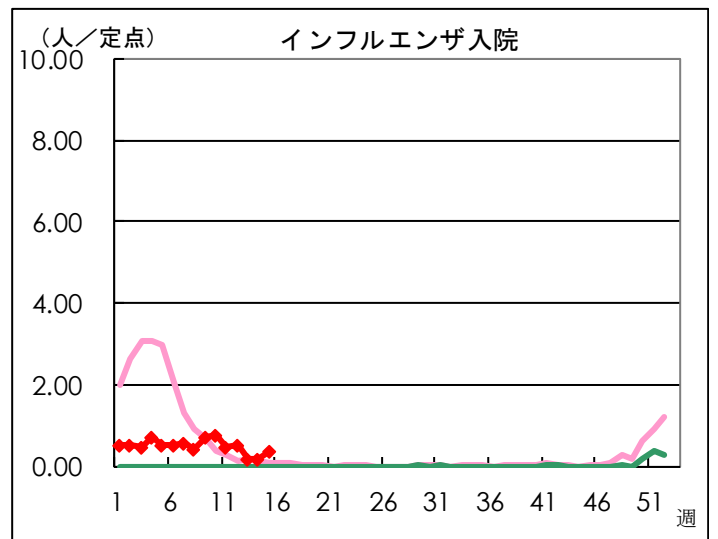
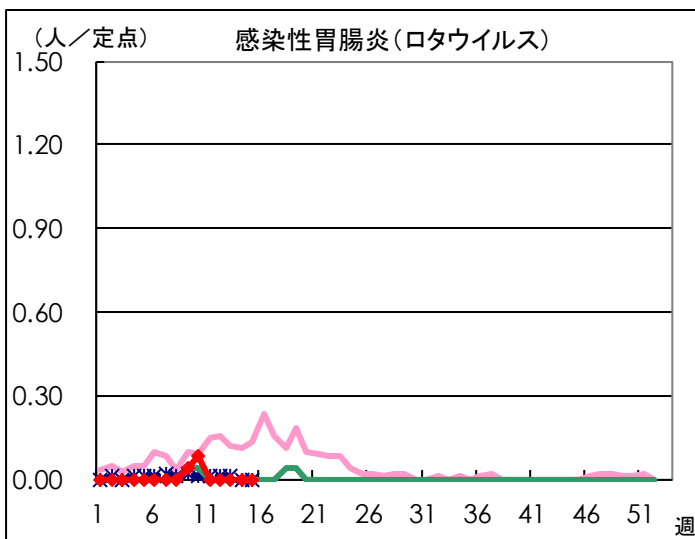
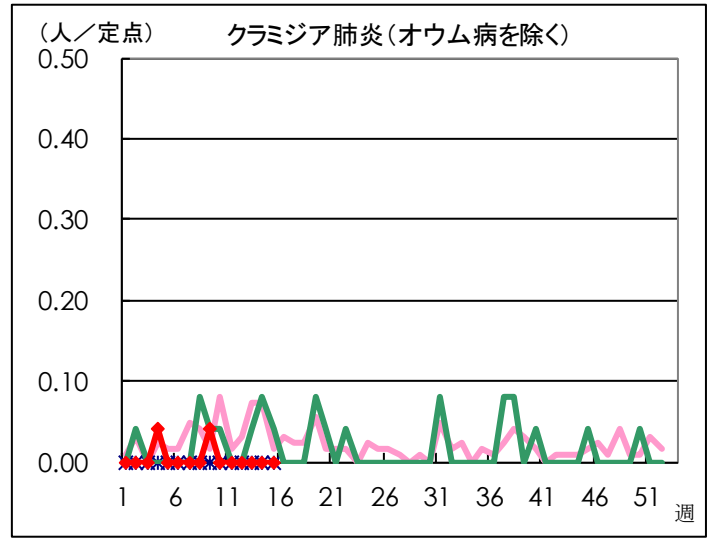
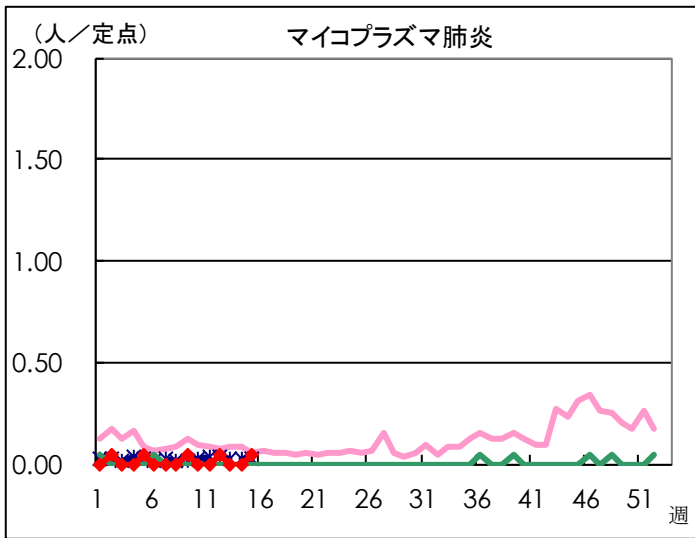
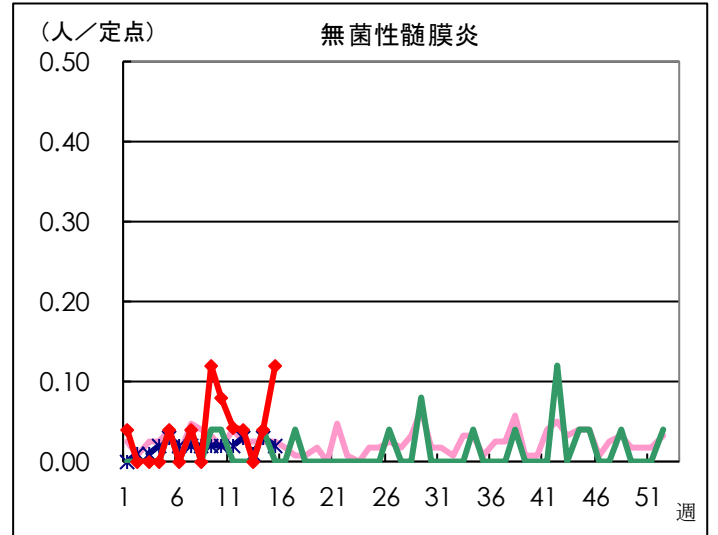
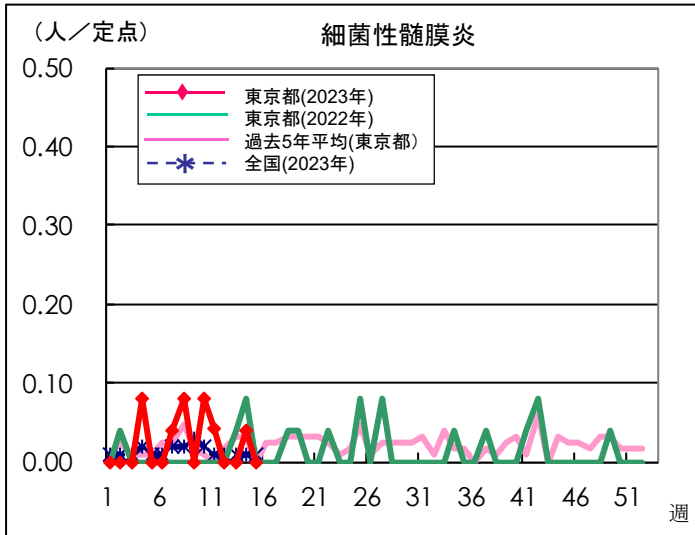
◆ インフルエンザ定点



◆ 眼科定点



◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報

◇遺伝子検査法によるインフルエンザウイルスの亜型別検出件数

	AH1pdm09	AH3亜型	B型Victoria系統	B型Yamagata系統
2023年13週		2		
2022-2023年 シーズン累計*	2	98	4	

* 2022-2023年シーズンの開始は第36週(2022年9月5日～)

病原体検出情報【週別】

検出病原体	2023年							
	06週	07週	08週	09週	10週	11週	12週	13週
アデノウイルス						1		
コクサッキーウイルスA群		1						
コクサッキーウイルスB群								
エコーウイルス								
エンテロウイルス71								
その他のエンテロウイルス								
ライノウイルス	1		1					
ヒトメタニューモウイルス								
単純ヘルペスウイルス								
水痘・帯状疱疹ウイルス								
ヒトヘルペスウイルス6型・7型								
EBウイルス								
サイトメガロウイルス								
ムンプスウイルス								
麻疹ウイルス								
麻疹A型(ワクチンタイプ)								
風疹ウイルス								
風疹1a型(ワクチンタイプ)								
ヒトパルボウイルスB19								
RSウイルス								
ノロウイルス								
ロタウイルス								
サポウイルス								
インフルエンザウイルスAH1pdm09								
インフルエンザウイルスAH3亜型	8	6	3	7	4	4	4	2
インフルエンザウイルスB型Victoria系統				2			1	
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統								
その他のウイルス								
A群溶血性レンサ球菌T-1型	1			1				
A群溶血性レンサ球菌T-3型								
A群溶血性レンサ球菌T-4型					1			
A群溶血性レンサ球菌T-12型								
A群溶血性レンサ球菌T-25型								
A群溶血性レンサ球菌T-28型								
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型		2						
A群溶血性レンサ球菌その他のT型								
A群溶血性レンサ球菌T型別不能								
百日咳菌								
肺炎マイコプラズマ								
肺炎クラミジア								
髄膜炎菌								
B群レンサ球菌								
肺炎球菌								
インフルエンザ菌								
黄色ブドウ球菌								
大腸菌								
その他の細菌								
その他の病原体								

病原体検出情報【臨床診断名別】

2023年06週～2023年13週

	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	川崎病	不明発疹	インフルエンザ	インフルエンザ様疾患	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	
搬入検体数			5			1						2	40	9							
アデノウイルス													1								
コクサッキーウイルスA群						1															
コクサッキーウイルスB群																					
エコーウイルス																					
エンテロウイルス71																					
その他のエンテロウイルス																					
ライノウイルス													2								
ヒトメタニューモウイルス																					
単純ヘルペスウイルス																					
水痘・帯状疱疹ウイルス																					
ヒトヘルペスウイルス6型・7型																					
EBウイルス																					
サイトメガロウイルス																					
ムンプスウイルス																					
麻疹ウイルス																					
麻疹A型(ワクチンタイプ)																					
風しんウイルス																					
風しん1a型(ワクチンタイプ)																					
ヒトパルボウイルスB19																					
RSウイルス																					
ノロウイルス																					
ロタウイルス																					
サボウイルス																					
インフルエンザウイルスAH1pdm09																					
インフルエンザウイルスAH3亜型													36	2							
インフルエンザウイルスB型Victoria系統													3								
インフルエンザウイルスB型Yamagata系統																					
その他のウイルス																					
A群溶血性レンサ球菌T-1型			2																		
A群溶血性レンサ球菌T-3型																					
A群溶血性レンサ球菌T-4型			1																		
A群溶血性レンサ球菌T-12型																					
A群溶血性レンサ球菌T-25型																					
A群溶血性レンサ球菌T-28型																					
A群溶血性レンサ球菌T-B3264型			2																		
A群溶血性レンサ球菌その他のT型																					
A群溶血性レンサ球菌T型別不能																					
百日咳菌																					
肺炎マイコプラズマ																					
肺炎クラミジア																					
髄膜炎菌																					
B群レンサ球菌																					
肺炎球菌																					
インフルエンザ菌																					
黄色ブドウ球菌																					
大腸菌																					
その他の細菌																					
その他の病原体																					

月報告 定点把握対象疾患 報告数 2023年3月

定点種別	対象疾患	性別	報告数	定点当たり	合計	定点当たり	報告医療機関数	定点医療機関数
性感染症	性器クラミジア感染症	男	130	2.41	236	4.37	54	55
		女	106	1.96				
	性器ヘルペスウイルス感染症	男	40	0.74	75	1.39		
		女	35	0.65				
	尖圭コンジローマ	男	81	1.50	121	2.24		
		女	40	0.74				
	淋菌感染症	男	75	1.39	99	1.83		
		女	24	0.44				
膣トリコモナス症	男			13	0.24			
	女	13	0.24					
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	男	35	1.40	61	2.44	25	25
		女	26	1.04				
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	男	3	0.12	3	0.12		
		女						
	薬剤耐性緑膿菌感染症	男			1	0.04		
		女	1	0.04				

2023/4/14集計

月報告 定点把握対象疾患(性感染症・基幹) 報告数【年齢階級別】 2023年3月

＜ 男性 ＞

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症
0歳								
1～4歳						2	1	
5～9歳						2		
10～14歳								
15～19歳	3		1	3				
20～24歳	27	3	8	17				
25～29歳	31	2	17	12				
30～34歳	21	5	12	11				
35～39歳	8	5	12	11			1	
40～44歳	22	8	10	9		5		
45～49歳	5	9	10	4				
50～54歳	4	3	4	5		1		
55～59歳	5	3	3	1		2		
60～64歳	3		2	1		4	1	
65～69歳		1	1	1		6		
70歳～	1	1	1			13		
合 計	130	40	81	75		35	3	
先月比	-18	-1	3	-10	-1	4	1	-1

＜ 女性 ＞

	性器 クラミジア 感染症	性器 ヘルペス ウイルス 感染症	尖圭コンジ ローマ	淋菌感染症	膣トリコ モナス症	メチシリン耐性 黄色ブドウ球菌 感染症	ペニシリン耐性 肺炎球菌 感染症	薬剤耐性 緑膿菌感染症
0歳						1		
1～4歳						2		
5～9歳								
10～14歳				1				
15～19歳	7	1	3	2				
20～24歳	32	4	18	9	5			
25～29歳	27	9	9	2	2			
30～34歳	13	6	4	3	2			
35～39歳	7	5	2	2	2			
40～44歳	8	3		1				
45～49歳	5	1	2	2	1			
50～54歳	3	2	2	1	1	1		
55～59歳	2	1		1		1		
60～64歳	1							
65～69歳	1					1		
70歳～		3				20		1
合 計	106	35	40	24	13	26		1
先月比	26	18	2	4	7	14	-4	

月報告 定点把握対象疾患(性感染症) 報告数 【保健所別】 2023年3月

〈男性〉

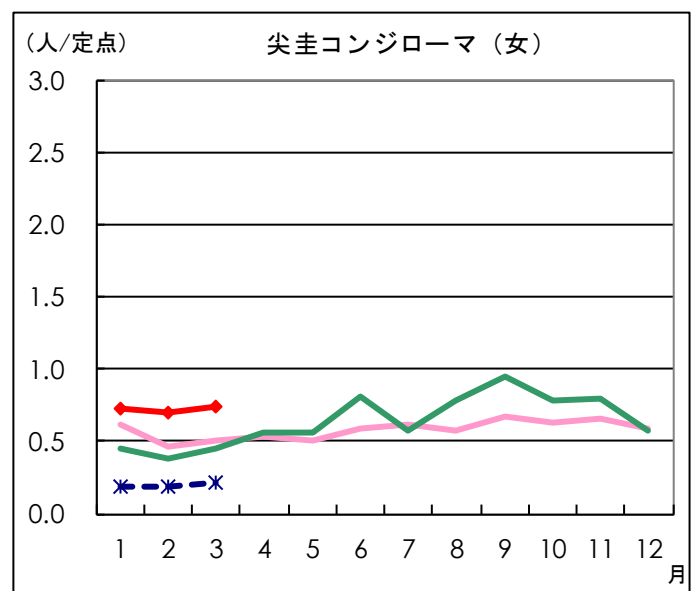
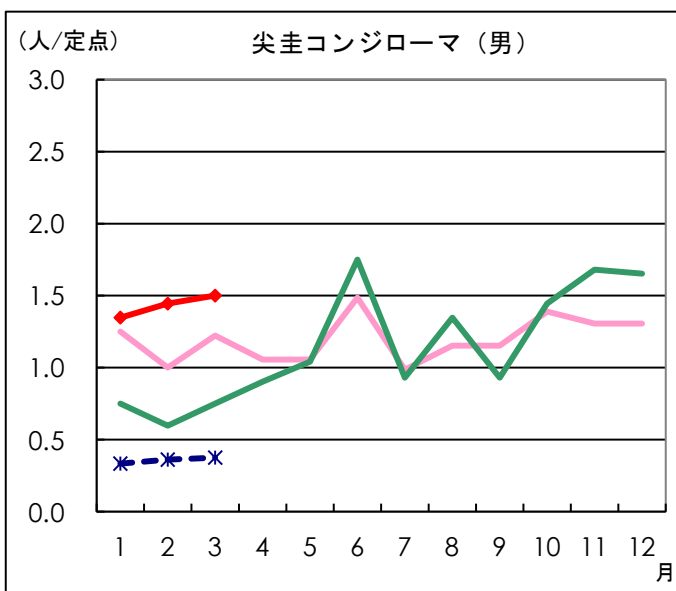
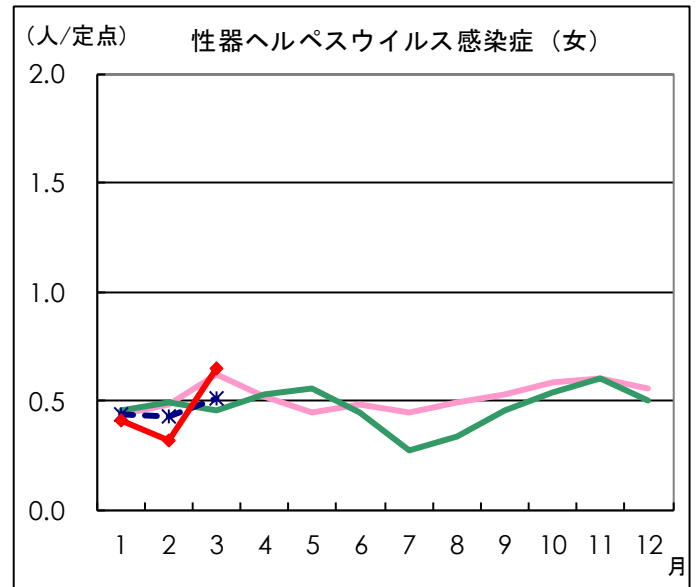
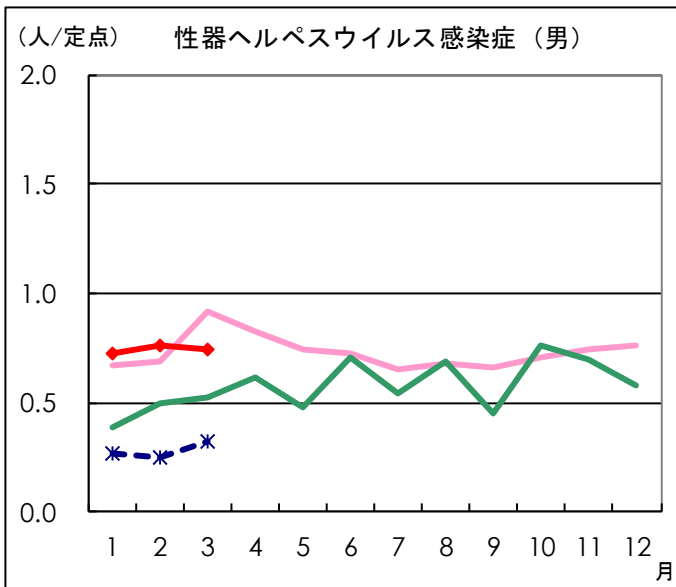
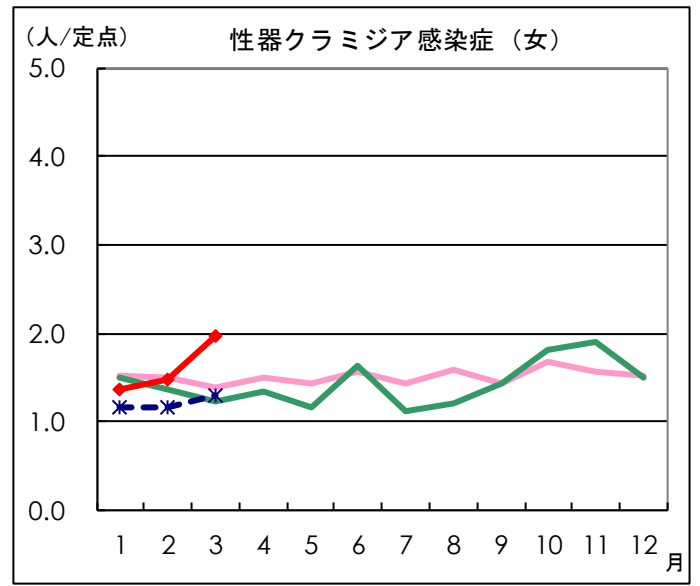
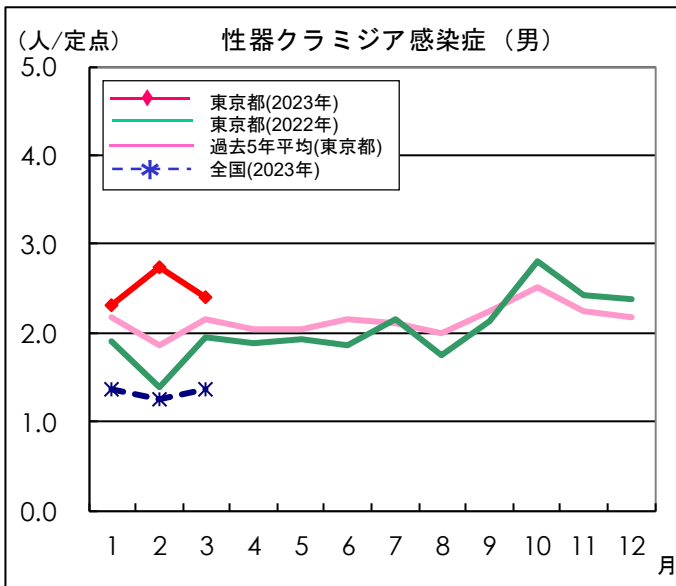
	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	総 計
千代田	2	1			1		2
中央区	3	5	6		2		13
みなと	2	5	4	11	6		26
新宿区	6	21	17	54	15		107
文京	1	3		1			4
台東	2			1	2		3
墨田区	2	5	1		1		7
江東区	2	16	3	2	9		30
品川区	1	24	2	6	11		43
大田区	2	1					1
渋谷区	5	17	2	2	10		31
中野区	2	11	1		4		16
杉並	2	4		1	1		6
池袋	3	7	3	3	9		22
北区	1	3			1		4
荒川区	1						
板橋区	2	1			1		2
足立	2						
江戸川	2	6	1		2		9
八王子市	4						
町田市	1						
多摩立川	2						
多摩府中	3						
多摩小平	1						
合 計	54	130	40	81	75		326
定点当たり		2.41	0.74	1.50	1.39		6.04

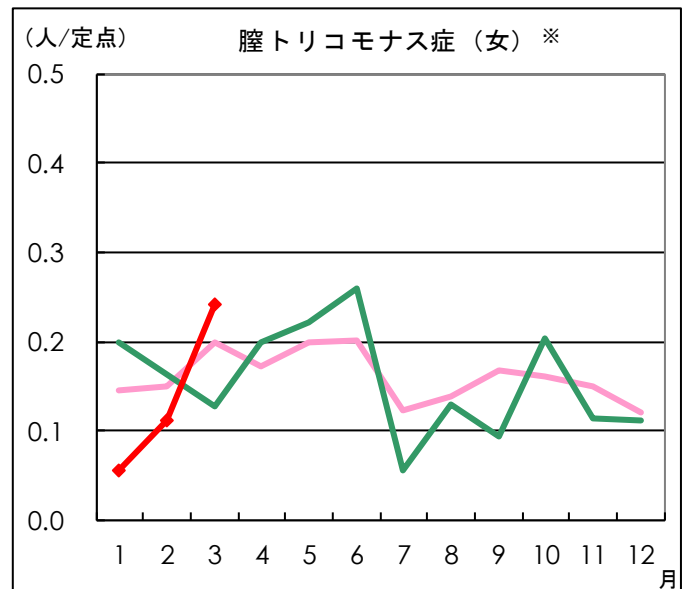
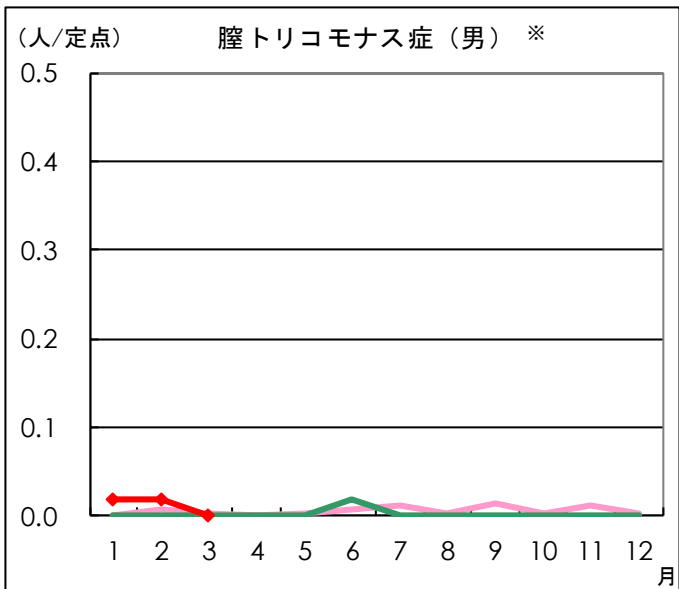
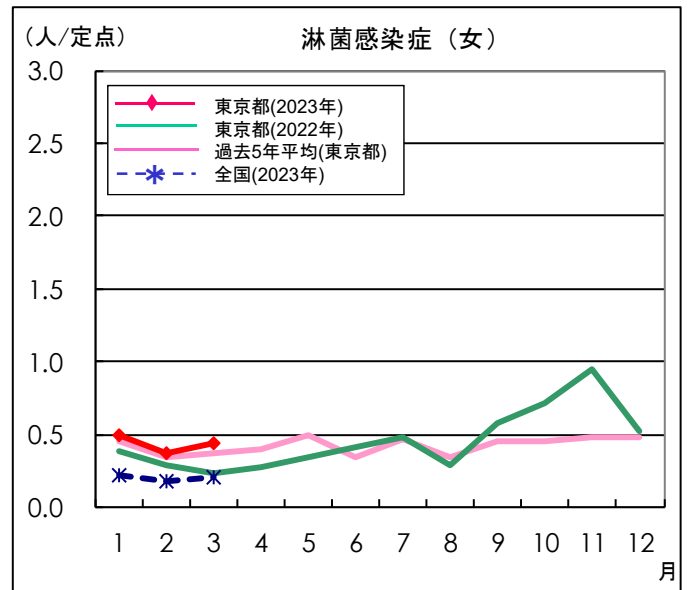
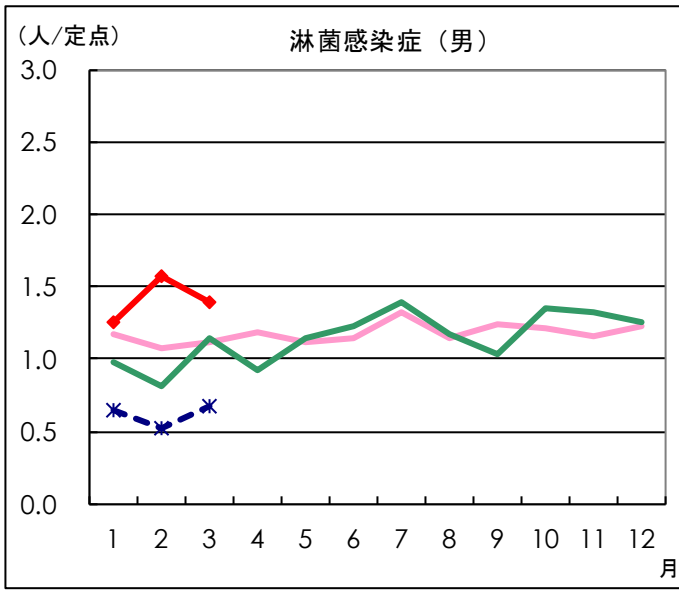
〈女性〉

	定点数	性器クラミジア 感染症	性器ヘルペス ウイルス感染症	尖圭 コンジローマ	淋菌感染症	膣トリコモナス症	総 計
千代田	2		2	1			3
中央区	3	1	4	1			6
みなと	2	6	1		1		8
新宿区	6	10	14	25	4	4	57
文京	1						
台東	2	13	2	4	8	3	30
墨田区	2						
江東区	2						
品川区	1	19			5		24
大田区	2	2					2
渋谷区	5	8	2	4		1	15
中野区	2			1	1		2
杉並	2	1					1
池袋	3	2	3	2			7
北区	1						
荒川区	1	1			1		2
板橋区	2	4	2		1		7
足立	2	5	1	1	1	1	9
江戸川	2	9		1	2	1	13
八王子市	4	8	1			1	10
町田市	1		2				2
多摩立川	2	14	1			2	17
多摩府中	3	3					3
多摩小平	1						
合 計	54	106	35	40	24	13	218
定点当たり		1.96	0.65	0.74	0.44	0.24	4.04

月報告 定点把握対象疾患 定点医療機関当たり報告数(2023年3月 現在)

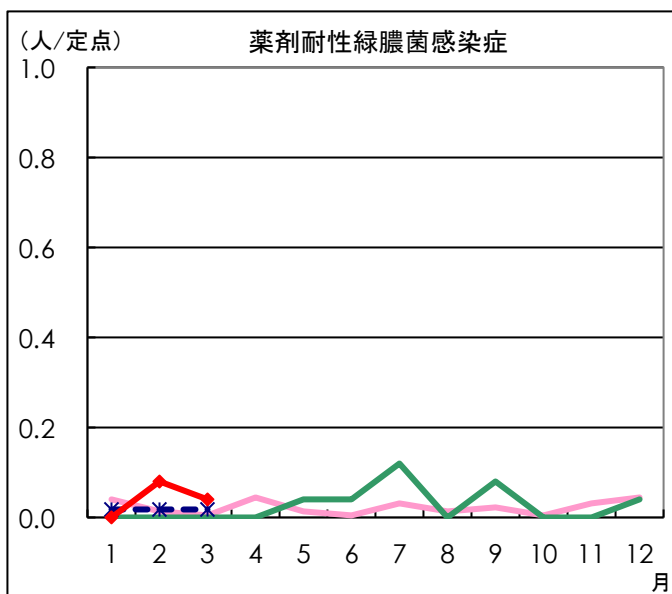
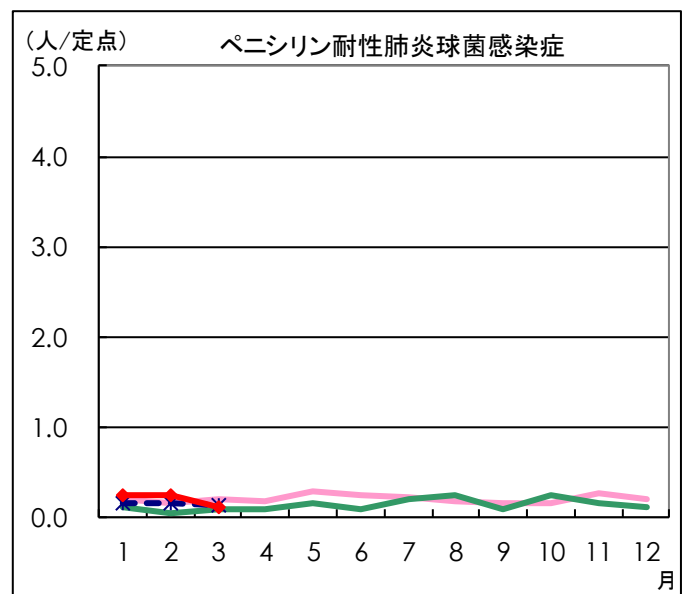
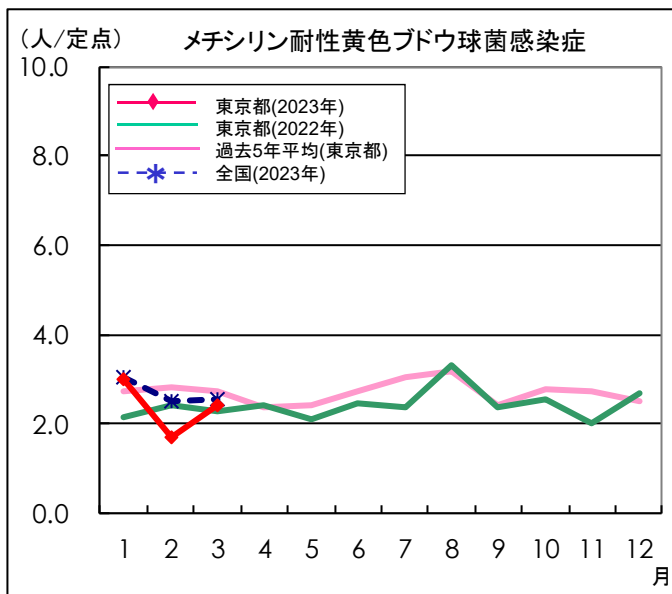
◆ 性感染症定点





※東京都独自対象疾患

◆ 基幹定点



定点医療機関から搬入された検体の検査情報(月報告)

採取日	臨床診断名	年齢	性別	検査試料	検出病原体
2/3	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	女	皮膚病巣	MRSAコアグラーゼⅦ型
2/12	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	72	女	血液	MRSAコアグラーゼⅦ型
3/11	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1	女	血液	MRSAコアグラーゼ型別不能
3/19	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	12	男	気管吸引液	MRSAコアグラーゼⅢ型
3/24	尖圭コンジローマ	69	男	皮膚病巣	ヒトパピローマウイルス11型

<感染症豆知識>

「虫酸が走る」寄生虫

「虫酸が走る」という表現があるが、実際に寄生「虫」が皮下を這いずりまわることがある。現在、青森での集団発生が話題になっている顎口虫は皮膚爬行症を起こす代表的な寄生虫である。記録によると秋風が立つ頃から患者が出現しはじめ、11月下旬にピークとなり、2月10日時点での累計患者数は291名に達している。顎口虫はイタチやイノシシなどの寄生虫だが、幼虫は淡水魚に寄生しており、これを生で食べることによってヒトに感染する。しかし、顎口虫にとってヒトは本来の宿主でないため、幼虫は皮下組織内を這い回り（幼虫移行症）、その痕跡は爬行疹という特有な線状の発赤や遊走する限局した腫脹となる。稀ではあるが、脳や眼にも侵入するため、危険な寄生虫と言える。

今回はシラウオを加熱せずに食べたことが原因とされている。以前から秋田や青森ではシラウオを生食したのちに幼虫移行症を呈する患者が時折見つかっていた。シラウオが原因となる寄生虫としては横川吸虫の方が良く知られており、都内のある病院では人間ドックの受診者の3-6%が感染していたことが20年ほど前に報告されている。

もともと顎口虫はドジョウやナマズ、ライギョの生食によって感染することが知られていた。美食家やゲテモノ食いを専門とする寄生虫なのだ。しかし、湖水のシラウオや美しい溪流を優雅に泳ぐイワナやヤマメにもそのリスクはある。森林に住む野生動物と、それを下支えする溪流の生物の間で顎口虫の生活環が完成している。私もかつて溪流で毛鉤を振っていたことがあり、そこで釣った魚を頂くのは格別の楽しみであった。しかし、淡水魚の生食にはさまざまな寄生虫の感染リスクがある。それらは実にしぶとく、酢で締めた位では感染性を失わない。安全に淡水魚を食べるには加熱か数日間の冷凍処理が必要である。淡水魚の刺身や踊り食いなどは避けるべきものの典型と言えるだろう。

(文責 順天堂大学医学部 熱帯医学・寄生虫病学講座教授 美田敏宏)